

市P連おおた

題字：太田市P連会長 柴宮 佑介

第33号

★発行 所：太田市 PTA 連合会
 ★発行 責任者：柴宮 佑介
 ★編集 担当：太田市 PTA 連合会 西ブロック
 宝泉小学校 PTA、宝泉南小学校 PTA
 宝泉中学校 PTA、木崎小学校 PTA
 木崎中学校 PTA、生品小学校 PTA
 生品中学校 PTA、綿打小学校 PTA
 綿打中学校 PTA
 ★印刷 所：株式会社アド・レーベン



学びえたこと
 太田市PTA連合会会長
 太田市立九合小学校PTA会長
柴宮 佑介

令和四年度の太田市PTA連合会会長を務めております、九合小学校所属の柴宮と申します。まもなく年度の切り替えを迎えるということで、一年間の所感をつらつらと述べさせていただきます。

新型コロナウイルス感染症が未だ収まらない状況ではありますが、各単位PTAでの活動はいかがでしたでしょうか。市P連の活動としましては、歓迎迎会や新年会は開催できませんでしたでしたが、総会や各研究会の開催など、無事に執り行うことができました。ご協力いただいた各ブロックの役員の皆様、大変ありがとうございました。

コロナ禍をきっかけとして、全国的にPTAの存在意義や活動方法などについて議論が行われています。二年以上にわたる活動規模の縮小や停滞は、会員の皆様の意識を変えてしまうのでは十分な時間だったのではないのでしょうか。そのような中、今年度は日本PTA全国研究大会山形大会や日本PTA関東ブロック研究大会山梨大会に参加させていただき、全国各地の地域の実情に合わせたPTAの活動内容から多くの学びを得ることができました。PTA活動の本質は子どもたちが安心して安全に学校生活を送ることが



できるような様々な面からサポートするという点にあると思います。地域や学校の状況を踏まえ、学校と協力しながら、固定観念にとらわれず自由な発想で活動を行うことができるというのがPTA活動のメリットではないでしょうか。

社会状況の変化に伴いPTA活動の在り方も変化していく必要があると思います。PTA活動によって多くの負担を強いられ、活動に消極的になってしまっている組織では、元も子もありません。すべては子どもたちのためにという本質を忘れず、保護者同士のコミュニケーションを活発に行いながらサステナブルな活動を行えるような組織へと変革させていくことが大切なのではないでしょうか。

今年度はブロック間や学校間での情報交換を行い、各校の役員の決め方や行事、事業の在り方などを話し合うことができました。同じ太田市で生活する子どもたち、そして保護者同士のつながりを持つことのできる太田市PTA連合会の活動はとて大切であると思えます。引き続き太田市PTA連合会の活動にご協力をお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

心をはぐくむ 家庭を目指して

太田市PTA連合会
 家庭教育委員会委員長
生形 友子



Withコロナの生活となり三年が経過しようとしております。私自身は消毒・換気よりもマスク生活が子ども達に与える影響がどれほどあるのかとても不安です。周囲の表情が見えない、しかも自分の表情も隠すことができるマスク生活が続くことで、子ども達の「こころ」を育むことはできるのでしょうか。家庭教育委員会で「聴くことはつながること」「新型コロナワクチン

を正しく知ろう」「カラダのバランスを整えよう」「季節を楽しむアロマストーン作り」の研修を行い「心をはぐくむ家庭を目指して」きました。本広報が皆様のお手元に届くころは「心をはぐくむ読み聞かせ」も終了しているはず。わずかな時間でも子どもと共に文字を追いかけて、一緒に身体を動かしたり、季節を感じたりすることを共有することで気持ちがあなた

くなり、きつとそれはこころを育ててくれていると信じています。

集合形式の研修でしたが、安全を最優先に研修を行うことができました。体調管理と感染対策をしながら、たくさんの保護者、子ども達が参加してください。改めて感謝申し上げます。そして、家庭教育委員会に携わってくださった皆様のご健勝、ご活躍を心より祈念いたします。

毎月第1日曜
おおた家庭の日
 家族みんなで語り合い、楽しみあい、協力あって、家庭のきずなを深め、あたたかい家庭を育みましょう

令和四年度、群馬県PTA連合会への出向や太田市PTA連合会の会員研修会担当として様々な貴重な経験をさせていただきました。この社会情勢下、子どもたちのために、直接的にも間接的にも協力が難しい状況が続いてきました。強戸中学校での生徒向け講演会をはじめ、様々な研修会がリアル開催でき、対面ならではの効果があったのではないかと感じております。あと一年で我が子も中学を卒業いたしますが、これからも我が子たちのためにできることをできる範囲で頑張ってみようと思っております。ありがとうございました。

PTA活動を振り返って
 太田市PTA連合会 副会長・顧問
 太田市立強戸中学校PTA会長
柳 和佳

コロナ禍三年目、学校生活・PTA活動など色々変化してきました。皆さんの学校生活や家庭での過ごし方も変化してきたのではないのでしょうか。

太田市PTA連合会も予防対策を徹底してできる限り開催事業を行っております。一つの事業を開催するまでの会議・開催会場の打ち合わせなど、大変なことはたくさんありますが、普通に集まり子供たちのために話し合えることに喜びを感じながら活動をしています。今後も精一杯活動していきますので、ご理解ご協力の程よろしくお祈りします。

令和四年度のPTA活動
 太田市PTA連合会 顧問
 太田市立木崎小学校PTA顧問
黒田 篤史

今回の講師は、過去の会員研修会で講演実績のある「タカズ」こと、上田情報ビジネス専門学校福校長の比田井和孝先生です。「すべては子どもたちの幸せのため」と題し、行われました。

開会にあたり、アトラクションとして、太田市小学校、北ブロック(強戸、毛里田、敷塚)の小中学校7校に事前依頼し、吹奏楽部や金管バンド、鼓笛隊の演奏動画を会場で上映しました。また、開催案内通知や当日のパンフレットは、北ブロックの中学校美術部に制作を依頼した作品を使用

社会的動きや生活環境など、様々なことを変えてしまったコロナ禍。会員研修会も講演のDVD配布やリモート配信での代替開催でしたが、今年は三年振り返り講師を招き、保護者の皆さまに直接聞いていただくことができました。

(福校長は誤植ではなく、比田井先生が好んで使用しています)

保護者や教職員向けの講演ということで、親としての方、また比田井先生が感銘を受けた方々の言葉や活動についてのお話をいただきました。ありがとうございました。

しかし、人が集まることを良しとしないコロナ禍により、部活動やスポーツ少年団等の応援、発表する場がなくなりましたが、今回各校の活動を活用させていただきます。

感染対策面では、マスク着用や手指消毒を徹底し、ホール座席は間隔を空けて隣接して座らないように配慮しました。当日は、座席を一つ空けての来場でしたが、ほぼ満席でした。感染者やクラスターの発生もなく、研修会を終えることができましたのは、関係する方々のご協力と会員である保護者の皆さまのご理解の賜物だと思っております。誠にありがとうございました。

令和四年度太田市PTA連合会 会員研修会が開催されました
 太田市PTA連合会 会計
 太田市立敷塚本町中学校PTA会長
伏島 一也





太田市立 **生品小学校**



本校は昭和22年に創設されましたが、元は明治7年(1874年)開設の笠松学校を起源とした歴史ある小学校です。明治44年に生品尋常高等小学校が現在地に移転し、以来約110年にわたって生品地区の子供たちの学び場となっています。令和4年12月1日現在、本校には457名の児童が在籍しています。

学区内には、新田義貞公が鎌倉攻めに際し、鎌倉の方角に矢を放ちその吉凶を占ったとされる生品神社があります。

この故事に倣い、生品神社の境内では毎年5月8日に箭矢祭が行われ、本校の6年生男子児童が袴姿に白鉢巻の凛々しい姿で青空に矢を放ちます。今年度は3年ぶりに開催され、子供たちは地域の伝統行事に参加することができました。



学校行事では、3年ぶりに全校児童が揃った運動会が開催され、PTAも運営に協力しました。本校PTAは、「子供たちに必要(な活動)か」を念頭に置き、従前のPTA活動を見直してスリム化しました。コロナ禍ではありますが、子供たちが楽しく学校生活を過ごせるように、今後も保護者・教職員一体となって活動に取り組んでまいります。

太田市立 **木崎小学校**



明治6年創設の本校は、来年度、創立150周年を迎えます。木崎校区は、地域のボランティアによる登下校時の見守りや本の読み聞かせ等、学校と地域の連携が大変充実しており、子どもたちは毎日おだやかに学校生活を送っています。

今年度は、制限されていた学校行事が、徐々に再開されました。学校保健員会や全校児童揃った運動会では、子どもたちの学習の成果や活躍する姿を見ることができました。また、安全点検を兼ねた通学路をきれいにしようウォークやPTA資源回収は、保護者として、学校と関わる良い機会となりました。校長先生をはじめ諸先生方のご尽力、地域の方々のご協力に、大変感謝しています。

私たちPTAは、来年度の創立記念事業に向け準備委員会を発足し、記念集会の計画立案や記念誌、横断幕の制作を始めました。

今後も、学校シンボルの大銀杏のように、子どもたちの成長を力強く、温かく見守ってまいります。



※PTA活動、専門部の活動等を写真で紹介しています。↑

太田市立 **宝泉小学校**

本校は明治17年、由良威光寺に公立由良小学校として設置、明治29年に現在の敷地に移転、校名の変更を経て、今年139周年を迎えました。現在、児童数557名の「元気で輝く宝っ子」が活発に毎日過ごしています。ここ数年、新型コロナウイルス感染症の中でも、朝の旗振りや各専門部など、できる活動を続けてきました。本年度は少しずつ行事を実施することができました。林間学校や修学旅行などの宿泊行事、特に全校での運動会を実施できたことは大きな成果でした。これも、行事を計画していただいた先生方、子供たちの健康管理だけでなく準備や片付け等に協力いただいた保護者の方々のおかげです。また、PTA行事として、資源回収を行うことができました。今後も「元気で輝く宝っ子」が更に元気で輝けるよう、PTAは先生方や地域の方々とともに協力していきたいと思っております。



太田市立 **宝泉南小学校**



宝泉南小学校は、田園風景が広がる中、41,000平方メートルの広い敷地に建つ二階建て校舎が、遠くからでも目にとまります。

現在では、232名の子どもたちが学んでいて、休み時間には広い校庭で元気に遊ぶ姿が見られます。そんな宝泉南小学校の特色を一言で言うと、「地域と共にある学校」です。

毎年11月に開催していた「宝南祭り」は、地域の方々のご協力をいただき、子どもたちが収穫した米や野菜などを使い、もちや宝南汁を作り、お世話になった方々にも味わっていただきましたが、大切な行事の多くが中止となりました。

しかし、状況に応じて工夫を加え、新たなチャレンジをした行事もありました。

年2回実施している資源回収では、従来各役員が資源の回収に回っておりましたが、今年度は、個人持ち込みでのドライブスルー方式により、地域全体でリサイクルの推進をし、且つ安全に実施ができました。たくさんの地域の方々にご協力いただき、改めて地域の温かさを感じました。

太田市立 **綿打小学校**



綿打小学校の前身は、明治6年、上田中村六供の長慶寺本堂を仮用した「廣業館」にはじまり、明治22年の町村制実施に伴い、同年7月に綿打尋常小学校となりました。多くの先人の方々がかつた業績と長い歴史や伝統を受け継ぎ、今年度は、創立134年、「廣業館」をはじめるとすると149年目となり、令和5年度には150周年を迎えます。本校PTAについても、教職員の多忙化や家庭の状況に鑑みて、会則の改正や全保護者を対象としたPTAアンケートなどを実施して、アップデートを行っています。この目的は、子どもたちの健やかな成長を図るため、誰一人として取り残さず、子どもたちは

もちろん、保護者や教職員、地域の方々を包括的に捉え、「誰かの頑張りや、誰かを救える組織」とするためです。今後も、変化を恐れず、新たなPTAを皆さんと一緒に考え、ご協力をいただきながら前進してまいります。



タグラグビー群馬県大会 準優勝